

【アーティスト プロフィール】

■ ミオリ :「砂」「Sable」黄色を希望

大阪在住
コハクとLavender Pillow

■ 松本智仁 :「皿」「sara」緑

1987年生まれ、大阪在住。フォークミュージックとフリーインプロヴィゼーションを接点とする、即興演奏活動を2008年頃から開始。ソロでは、12弦ギターを使用し、歌なしのギターインストゥルメンタルから、ラジオ、ミキサー、カセットレコーダーを使用した音響的なアプローチなど、気の向くまま自由な活動を行う。また、自身がリーダーである、辰巳加奈とのユニット“天体”では作曲、ガットギターを担当し、他には“amabeys!”“lavender pillow”においても精力的に活動する。現在、天体の音源をレコーディング中、自身のレーベルの始動を計画中です。

<http://matsumototomohito.blogspot.jp/>

■ Mujika Easel :「調」「Harmonia」薄いラベンダーピンク、ベージュのふわふわ

2001年に“映糸”を結成、nobleより『awaawa』(2003年)、テイラー・デュプリーによるリコンストラクトアルバム『every still day』(2005年)をリリース。その後、主にピアノと声を用いたスタイルで、“Mujika Easel”としてソロアルバム作品『Love and Realism』(2006年)、『海辺より』(2010年)を発表。2013年にギターとコーラス主体のアンサンブルグループ“Lavender Pillow”を結成し、主に関西にてライブ活動を開始。2014年より“天体”に参加。その他、様々な演奏家やダンサーとの即興演奏活動も行っている。

<http://www.mujika.net>

■ 阿部 綾子 :「風」「Nefes」(トルコ語で「息」の意味)緑 または ブルー…のような

10代の頃はクラシックバレエに傾倒、その後も身体表現への興味から、舞台写真家としての活動を経てコンテンポラリーダンス、ペリーダンスなど表現手段を模索。2013年に渡ったトルコでネイと出会い、その限りなくシンプル、かつ有機的な構造と音色に魅せられ、この楽器を深く奏でていこうと決意、今に至る。

■ 藤田陽介 :「肉」「organism」白 (もしくはマーブル模様)

音楽家。

広島県尾道市生まれ、香川県出身、神奈川県在住。鳥を師匠とする。

2009年、空想を具現化した完全自作のパイプオルガン〈11's Moon Organ(管鳴/くだなり)〉を製作。ふいごからパイプまで全てを一人で作り上げたそのオルガンは、その構造や演奏方法の全てが特異であり、鍵盤すら持たない。この世に一台限り実在する空想楽器である。

また、世界で最初のノイズ作曲家と言われる未来派、ルイジ・ルツソロの考案した騒音楽器「イントナルモーリ」を復元し、パフォーマンスに取り入れている。歌手としては、ロシア連邦トゥバ共和国の伝統歌唱・ホーメイをはじめ、世界中のプリミティブな歌唱法を独学で取り込み、自らの歌唱法として展開。なかでもイヌイットの喉交換遊び・カタジャックからヒントを得てあみ出したオリジナルの歌唱法〈テタニー歌唱〉は特に独自性が高く、発声によって引き起こされる筋肉の硬直やしびれ、痙攣などを 利用する歌唱はあまり類を見ない。

近年では、巻上公一(ヒカシュー)や山川冬樹、Open Reel Ensembleなどとの共作によるパフォーマンス公演をはじめ、ダンサーや映像作家との共演、展示活動も行う。現在、自分の自宅を舞台にしたパフォーマンス・イベント「蚕の家で」を毎月企画している。

<http://fujita-yosuke.moo.jp>

■ Itsuqi Doi :「圏」「sphere」 マンガニーズブルー

研究者、音楽家。

2010年、音楽レーベルCotofuを設立。同年、海と胎内をテーマとした初のソロアルバム『Uonotayu』を発表。2011年には、アルバム『When the whale turns her back to the sea』を発表した。CM、インスタレーション、展示のサウンド・デザインも手がけており、2012年には、タイポグラフィの在り方を探求する実験的プロジェクト「TYP(タイプ)」による展覧会「TYP Exhibition. 01 at SUNDAY ISSUE」のサウンドを担当、2014年夏にはLos Angelesにて40台の指向性スピーカーを用いたサウンドインスタレーションを発表予定。

<http://cotofu.com/>

■ 廣樹輝一 :「幸」「nicopyom」オレンジ、橙

これからは、ひたすら作曲しようと思っています。
という意味で、作曲家です。

■ Yousei Suzuki :「鳥」「bird」 薄い黄色

アコースティックギターによるインストゥルメンタルを中心に創作する。

響きの中に祈りや呪術的な要素を盛り込むことに挑戦している。

ピアノや歌の演奏もおこなう。数枚のオリジナルアルバムを発表している。

2009年、オーストラリアのネットラジオSideways Through Soudの企画したオムニバス盤に参加。

2013年、アメリカのテープレール、Scissor Tail Editionsから「The Scene From A Frame」をリリース。

■ sundiwax :「端」「ooー」水色

『sundiwax musician,painter』
<http://sundiwax.com/>

■ 小堀努 :「波」「Waves」薄い青緑

大阪在住。主にエレキギターで様々なバンドに参加しています。

バンド以外にも多重録音による音楽を制作しています。

参加バンド(ineos!・映糸・●子は今(丸尾丸子バンド)・森田雅章トラデションカントリーバンド・Lavender Pillow・etc…)

<https://soundcloud.com/tsutomukobori>

■ 内田輝 :「土」「Sirius」青

piano, soprano sax

音楽大学でsaxを専攻。卒業後欧州を旅し、その実体験から西洋と東洋における紀元前からの中世の思想を意識する。ピアノ調律を習得後、14世紀に考案されたclavichord(鍵盤楽器)に出会う。古来からの美意識に基づき、音の霊性と波動を追求している。